

きよしこの夜

Silent Night

アメリカ民謡

© Edition SUZUKI GAKKI

きよしこの夜 ほしはひかり
すくいのみこはみははのむねに
ねむりたもう めめやすく

オーラリー

Aura Lee

プレスリーが歌った「ラブ・ミー・テンダー」の原曲です。

© Edition SUZUKI GAKKI

When the black-bird in the spring On the wil-low tree Au-ra Lee
Sat and rocked, I heard him sing Sing-ing Au-ra Lee
Au-ra Lee Maid of gold-en hair Sun-shine came a-long with thee And
swal-lows in the air swal-lows in the air

注) タブ譜の表記 は左手(弦を押える手)のフレットを押える位置と押える指を示します。なるべく示されたフレットの近くを丁寧に押えます。しっかり押さないときれいな音になりません。

注) タブ譜の表記 は右手(弦を弾く手)のダウンストロークを示します。上から下へ人さし指を使って4弦を弾きます。

■輸入発売元

株式会社 鈴木楽器製作所

〒430-0852 静岡県浜松市中区領家2-25-12 TEL (053) 461-2325

<http://www.suzuki-music.co.jp>
メールでのお問い合わせは
info@suzuki-music.co.jp

4103-8D-CHI-MM-154-B
00457-60009 v.002
MADE IN CHINA

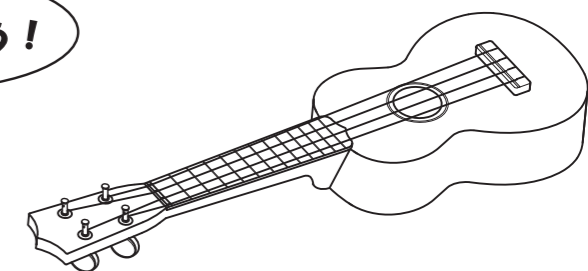


Ver.2

作ってみよう!

スズキキット教材

ウクレレキット



組み立て説明書

組み立て、ご使用を安全におこなっていただくため、この組み立て説明書をよくお読みください。お読みになった組み立て説明書は、大切に保管してください。

ウクレレ アメリカ(ハワイ)

ハワイを中心にポリネシアの島々で用いられる小型の弦楽器。1870年代にポルトガルの船乗りが持ち込んだ4弦のマチュテをまねて創り出されたという説があります。ウクレレとは現地の言葉で「ノミが跳ねる」という意味です。なぜこの楽器が「ノミが跳ねる」という名前になったのかは、弾いている手の動きからであったとも、演奏者のニックネームだったとも言われています。

ウクレレキットに含まれるもの

組み立てる前に、すべての部品が入っているか確認しましょう。

① ウクレレ本体(ボディ)×1本

ウクレレ本体には、木目の細かなすき間をうめるための塗装(クリアラッカーサンディング)がしてあります。着色剤を使用して、お好みの色に塗ることもできます。その際、200#以上の細かなサンドペーパーで塗装面を磨いてください。着色については、着色剤の取扱い指示に従ってください。

② 糸巻×4個 1つの糸巻はA-1~A-4の4つの部品から成ります。

- A-1 糸巻 4個
- A-2 回り止め 4個
- A-3 糸巻ツマミ 4個
- A-4 糸巻ネジ 4個

③ 弦駒×1個 弦駒はブリッジに装着された状態になっています。

④ 弦×4本 各弦は個別に袋に入っています。袋には弦の番号1~4を記してあります。

- 1弦 ラ(A) 1本
- 2弦 ミ(E) 1本
- 3弦 ド(C) 1本
- 4弦 ソ(G) 1本

⚠ 注意 組み立てる前によく読んでください。

❌ 熱くなる場所を避けてください。
自動車の中や暖房器具のすぐ近くなど、極端に熱くなる場所での使用、保管は避けてください。変形・故障の原因になることがあります。

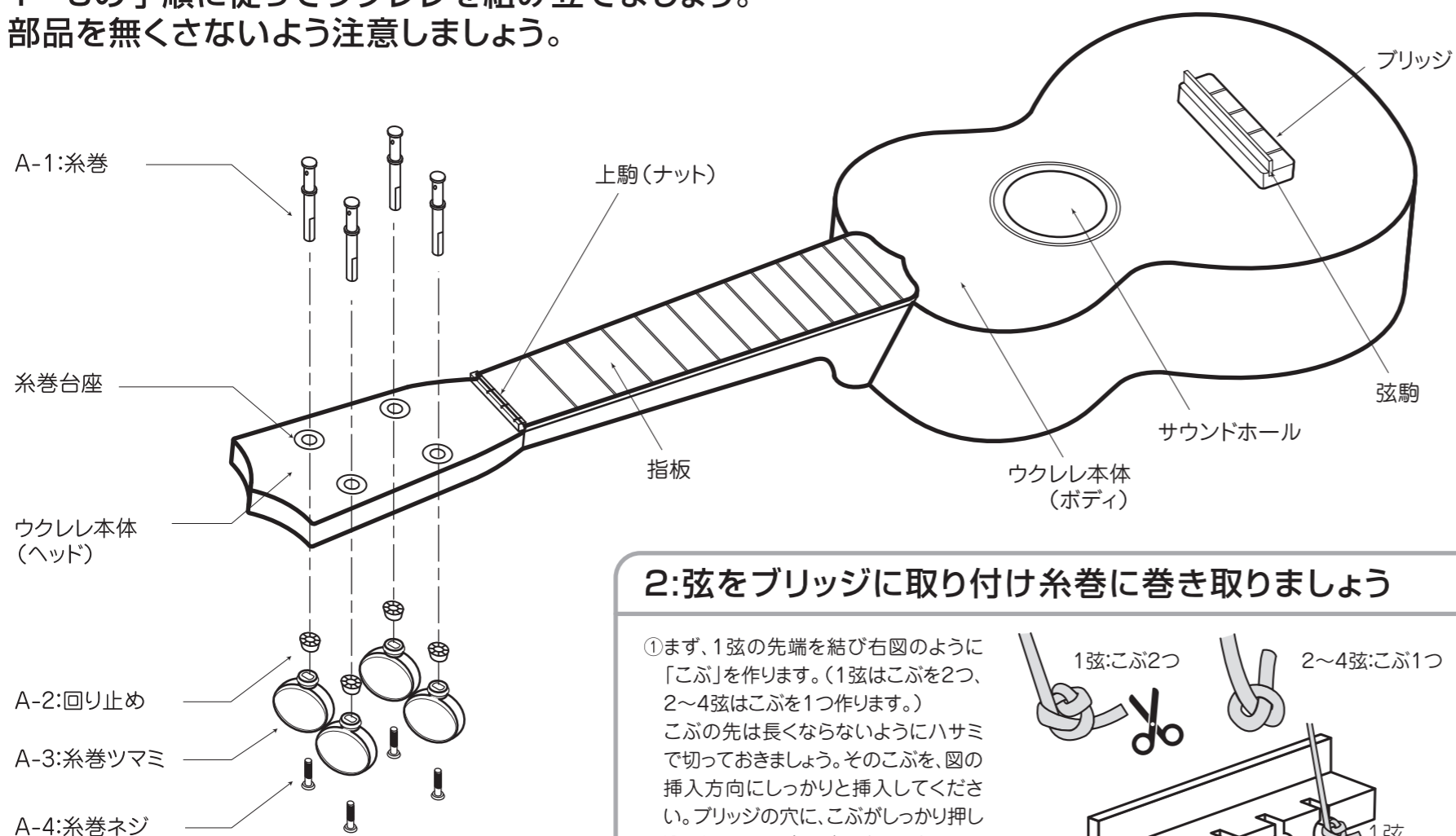
❌ お手入れはやわらかい布で。
お手入れはやわらかい布でカラ拭きしてください。アルコール・シンナー・ベンジン等は製品を傷めますので絶対に使用しないでください。

❌ 衝撃を与えないでください。
製品をぶつけたり、落としたりしないでください。製品に傷をつけるだけでなく故障の原因になります。

❌ 不安定な場所に置かないでください。
製品を不安定な場所に置かないでください。転倒・落下して、お客様が思わぬケガをする危険性があります。

ウクレレを組み立てましょう

1～3の手順に従ってウクレレを組み立てましょう。
部品を無くさないよう注意しましょう。

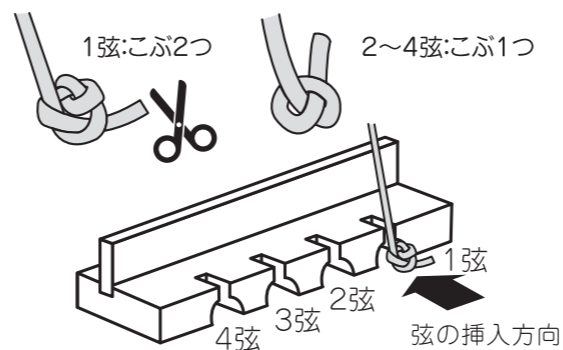


1:糸巻を取り付けましょう

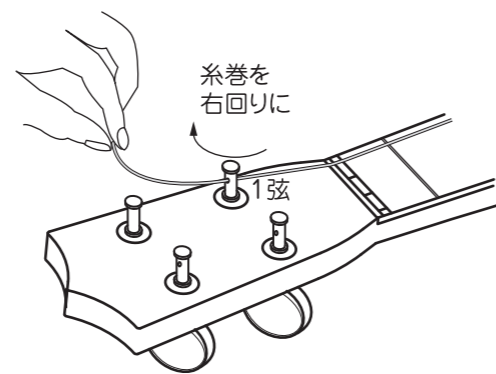
- ①糸巻台座に糸巻(A-1)を挿入し、回り止め(A-2)、糸巻ツマミ(A-3)を挿入します。
※糸巻ツマミは穴の形状が合わないと挿入できないので注意してください。
- ②糸巻ネジ(A-4)をNo.2のプラスドライバーで締めます。糸巻ネジが完全に動かなくなるまで、しっかりと強く締めつけてください。
※糸巻ネジの締めつけが弱いと弦が緩む原因になります。

2:弦をブリッジに取り付け糸巻に巻き取りましょう

- ①まず、1弦の先端を結び右図のように「こぶ」を作ります。(1弦はこぶを2つ、2～4弦はこぶを1つ作ります。)こぶの先は長くないようにハサミで切っておきましょう。そのこぶを、図の挿入方向にしっかりと挿入してください。ブリッジの穴に、こぶがしっかり押し込まれていないと固定できません。

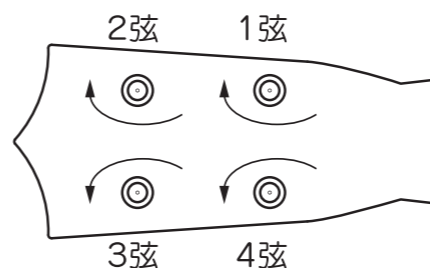


- ②1弦を糸巻の穴に通します。上方向に引っ張りぎみにし、糸巻ツマミで弦を糸巻に巻き上げます。

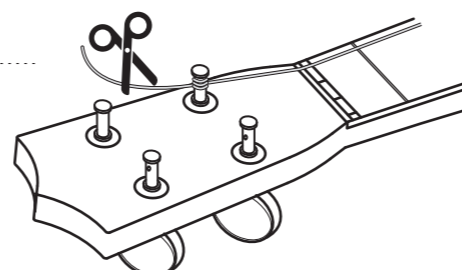


●弦と糸巻との位置関係

1・2弦の糸巻…右回りに巻き上げる



3・4弦の糸巻…左回りに巻き上げる



- ③弦は軸の上から下に向かって3～4回巻きます。余分な弦は切り取ってください。以上の①～③の工程を2～4弦も同様に行ってください。

3:調律しましょう

⚠ 指定以上に高い音に調律すると弦が切れたり、ブリッジが外れる恐れがあります。

ウクレレは、それぞれの開放弦(何も押さえないで弾いたとき)を、以下の音に調律します。(基音440Hz)

1弦…ラ(A)	2弦…ミ(E)	3弦…ド(C)	4弦…ソ(G)
---------	---------	---------	---------

調律は、糸巻ツマミを回して弦を張ったり、緩めたりして音を合わせます。

弦を張る → 音が高くなる | 弦を緩める → 音が低くなる

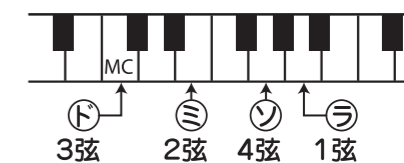
●チューナーを用いて調律する場合

各弦が右の音階になるよう、チューナーを見ながら1弦ずつ調律していきます。(A=440Hz)



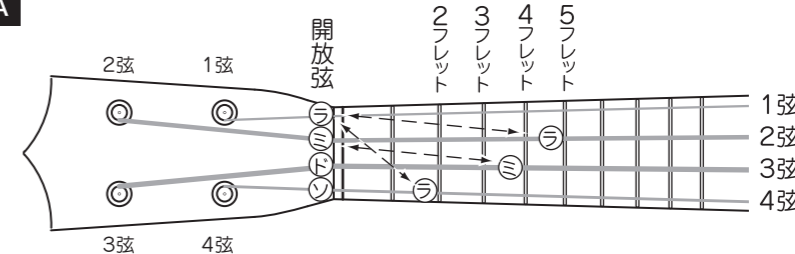
●調子笛や他の楽器(ピアノなど)を用いて調律する場合

- ①4つの弦いずれかの音を合わせます。基本は、1弦ラ(A)もしくは、3弦ド(C)をまず合わせます。



- ②1つの弦を正確に調律した後、図Aのように同じ音を他の弦でフレット位置を変えて鳴らしながら合わせます。例えば、1弦の開放弦ラ(A)は2弦の5フレットと同音です。2弦の開放弦ミ(E)は3弦の4フレットと同音です。1弦の開放弦ラ(A)は4弦の2フレットと同音です。(その他の音の関係は図B参照)

図A

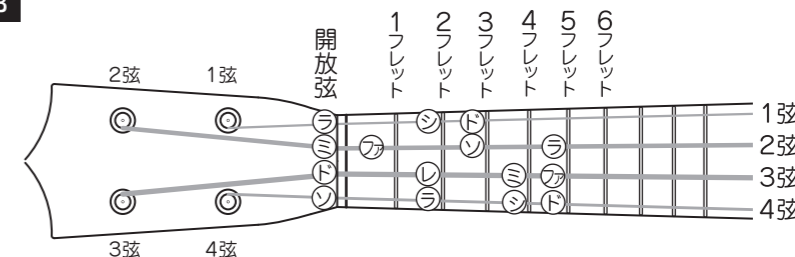


※調律をする時の音程の聞き取り方として、2本の弦の波長のうなりを聴いて合わせる方法があります。波長が異なる場合は「ワウワウ」のようにうなりが聞こえます。調律が合う時(波長が合う時)は、このうなり音が消えて1つの音がきれいに持続します。

※1オクターブ上の音階で調律をするとブリッジが外れる恐れがあります。

※弦そのものが持つ伸縮性があるため、調律したあとも弦が安定するまでは多少の狂いがあります。弦が安定するまで調律を繰り返してください。

図B



※図Aに示す1オクターブの最低音は、3弦の開放弦(ド)になります。最低音以外の同音はどちらを弾いても同じ音になります。弾きやすい位置を使います。1オクターブが素早く弾けるように練習しましょう。